

都市再生整備計画事後評価シート

岩井地区

令和3年3月

茨城県坂東市

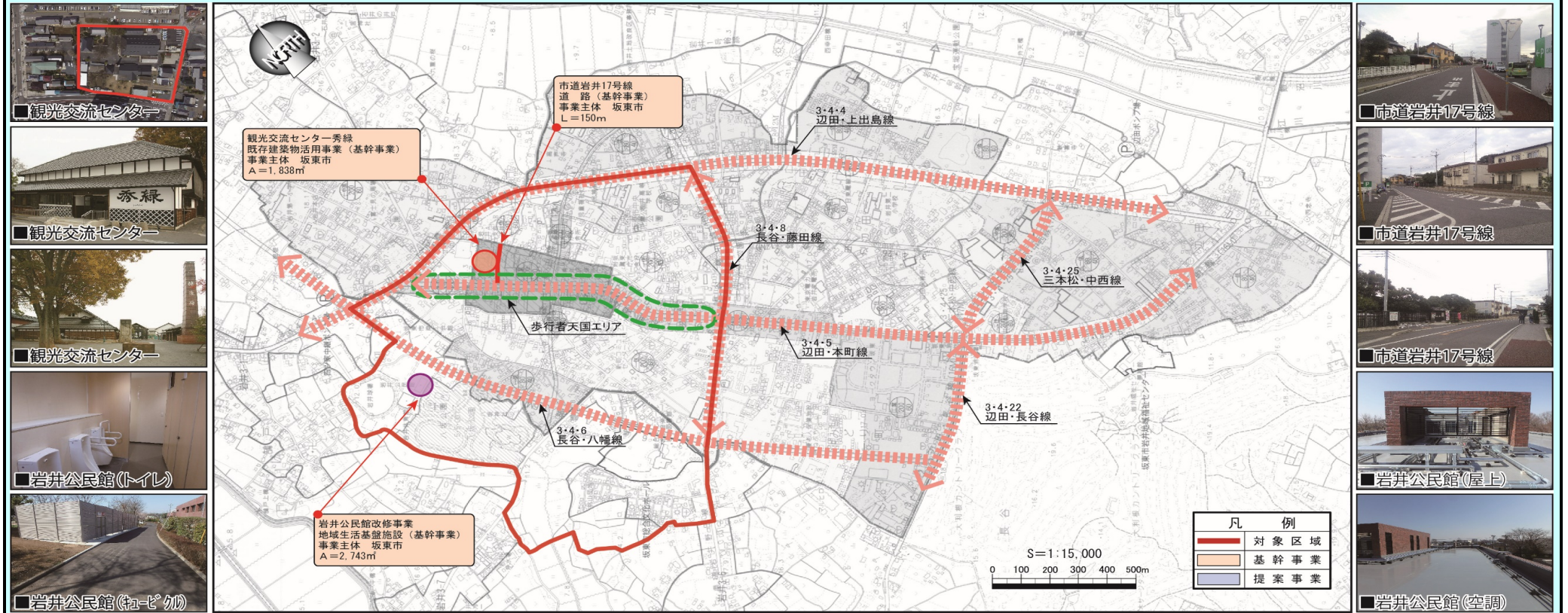
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	坂東市		地区名	岩井地区			面積	145 ha		
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	1,370	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道岩井17号線)、地域生活基盤施設(岩井公民館改修事業)、既存建造物活用事業(観光交流センター秀緑)										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	-	-			-						
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-			-						
		提案事業	-	-			-						
	交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
	変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	指標1	岩井公民館の利用者数	(人/年)	50,984	H25	55,000	R1	38,286	△	あり	●	施設改修工事の影響があり、目標年度の目標値を下回っているが、平成28～30年度までの利用者数は経年的に増えてきており、今後の事業効果によるさらなる目標値の達成も期待できる。	令和3年4月
	指標2	歩行者天国の来街者数	(人/年)	75,000	H25	78,750	R1	25,500	△	あり	●	歩行者天国の開催回数的大幅な縮小があり、事業年度としての来街者数の減少が見られ当初の目標値を下回っている。その一方、本事業で整備を行った施設(秀緑)における1年間利用件数は平成29年の140件から令和元年には347件と大幅に伸びていることから事業に伴う効果も伺える。	令和3年4月
	指標3									あり			
	指標4									あり			
3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	その他の数値指標1	-		-			-			-		-	
	その他の数値指標2	-		-			-			-		-	
その他の数値指標3	-		-			-			-		-		
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
		-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
		-		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
住民参加プロセス	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
	-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
	-		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
	-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
-		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							

様式2-2 地区の概要

岩井地区(茨城県坂東市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「交流を育み、賑わいと魅力あふれるまちづくり」 目標1 街なかでの様々な交流の場となる拠点機能の充実 目標2 八坂公園及び周辺施設の拡充によるスポーツ・コミュニティ活動の活性化の促進	岩井公民館の利用者数	(人/年)	50,984	H25年度	55,000	R1年度	38,286	R1年度
	歩行者天国の来街者数	(人/年)	75,000	H25年度	78,750	R1年度	25,500	R1年度



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備に伴い、観光交通センター周辺の交通利便や幹線道路から後背地へのアクセス性は良くなったが、後背地全体の道路通行環境を改善していく必要がある。 岩井公民館や観光交流センターの整備に伴い施設利用者等は増えてきているが地区全体として、魅力や活力の向上につなげていく施設機能の拡充や新規拠点づくりなどを進めていく必要がある。 拠点施設の整備により利便性が高まってきているが、施設間を結ぶ道路ネットワークの整備により市民や来街者が街なかや主要な施設間を回遊や滞留できる仕組みづくりが必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 近隣自治体と連携したイベントの多角化及び、坂東市ならではの事業等を拠点施設で実施し、来街者の増加を図る。 各拠点施設においてPR等を行うことにより連携力を高め、施設間の回遊性を促進し来街者の増加を図る。 歩行者等が安全安心に街なかを移動することができる歩行空間を整備し、街なかの回遊性を高める仕組みやイベント等を企画する。 拠点の改修工事等を行う場合、一時的な利用者数減少の対策として、工事と施設の併用利用を検討していく。